

2013年3月、
開館3周年を迎えます。
おかげさまで

館長よりご挨拶

開館3周年にあたって

館長 山田 朗（明治大学文学部教授）

本年3月29日で資料館は開館3周年を迎えることができました。来館者は、すでに累計で2万4,000人を超えています。多くの皆様にお越しいただきましたことにあつく御礼申し上げます。

この3年間に資料館は、着実に進化してきました。毎年の企画展の開催とともに、展示補修、展示・解説の充実にも努めて参りました。

開館2年目の2011年度に第1回の全面的展示補修（データの更新や修正）を行うとともに展示解説DVDシステムを導入しました。また、懸案であったガイドブック（無料で配付）を完成させることができました。

3年目にあたる2012年度には、第一展示室に登戸研究所が生田の地に設立される前に存在した日本高等拓植学校（1932年～37年）についてのパネル展示と、第五展示室に石井式濾水機濾過筒350本を新たに展示しました。

今後も資料館は、登戸研究所の実態解明と史実の継承のために不断に展示内容の見直しと充実にも努めて参りますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2つの新資料の展示が始まりました！

登戸研究所資料館では、2013年より、新たに2つの新資料の展示を開始いたしました。それらの新展示についてそれぞれの見どころをご紹介します。

第一展示室

1936年の航空写真に写る「日本高等拓植学校」とは

このたび新たにご紹介するのは、1937（昭和12）年に登戸研究所がこの地に設置される以前に存在した「日本高等拓植学校」です。この学校は、アマゾン開拓移民の中堅指導者を養成するための学校で、1932（昭和7）年に設立されました。本館として建てられた建物は登戸研究所でも引き続き本館として使用されました。登戸研究所時代に本館を撮影した写真はほとんど残されていない中、このたびご提供いただいた日本高等拓植学校として建築された当時の写真から、本館が建てられた当初の

様子を見ることができます。パネルでは併せて日本高等拓植学校がどのような学校であったかを、当時の貴重な写真とともに紹介しています。



第一展示室内にて展示中。

第五展示室

ろすいきろかとう 石井式濾水機濾過筒

第五展示室に入るとまず目に飛び込んでくる大きなガラスのケース。ここに並ぶのは「石井式濾水機濾過筒」です。このようなまとまった形での展示は国内でもこの登戸研究所資料館だけです。これらの濾過筒は全て、登戸研究所第二科に所属していた元所員、故・伴繁雄氏の長野県駒ヶ根市にあった自宅より発見され、ご子息である伴幸雄氏より当資料館へ寄贈されました。石井式濾水機とは、旧陸軍731部隊の部隊長、石井四郎が開発した水から細菌を濾過する装置で、この濾過筒は濾水機に取り付けて、戦地において飲料水などの確保のために使用されました。伴氏は生前、この濾過筒について詳細を述べることはありませんでしたが、旧陸軍が本土決戦の

準備を日本本土内陸部で密かに進めていたのではないかと推測をさせる資料です。



濾過筒には全て「軍事秘密」という刻印が入れられています。この圧巻の濾過筒展示を、是非ご自身の目で確かめてください。

天井まで届きそうな、高さ2.5mの展示ケースに約350本の濾過筒が並ぶ。

企画展・証言会開催報告

第3回企画展 「キャンパスに残っていた偽札工場 —5号棟調査報告—」

当資料館主催の第3回企画展「キャンパスに残っていた偽札工場 —5号棟調査報告—」は会期中2,203名もの来館者をお迎えし、好評のうちに終了しました。メディアにも取り上げられ、反響も大きく、当初2012年11月14日（水）～2013年3月2日（土）の開催期間を3月9日（土）まで延長しました。歴史的建造物として見た5号棟そのものへの関心、登戸研究所製造の精巧な「本物の偽札」現物展示への興味など多岐にわたる来館理由が挙げられ、普段はご年配の来館者が多い中、若年層も熱心に展示に見入っている姿が印象的でした。

特に会期終了間近、第4回目となった2月23日の山田朗館長による解説会は、聞き逃すまいと熱心な見学者で会場には大変な熱気があふれていました。

2013年度の企画展についてもいよいよ調査が始まります。テーマは追ってお知らせいたします。次年度の企画展もどうぞご期待ください！



企画展パネル前で解説する山田館長。



当日のメディアホールの様子。
5名の元勤務者の方がお話しして下さいました。

2013年3月9日（土）、明治大学生田キャンパス中央校舎6階メディアホールで第3回企画展記念証言会「元登戸研究所勤務者が語る「陸軍の秘密戦研究所」」が行われました。特に、元所員の方の「今までは喋ってこなかったが、2010年に登戸研究所資料館が出来て考えが変わった」という言葉に、資料館として歴史を継承していくための存在意義と責任を再認識させられました。くわしくは次号「資料館だより 第8号」でお伝えします。

証言会 「元登戸研究所勤務者が語る 陸軍秘密戦研究所」



登戸研究所資料館東側にある「弾薬庫」と呼ばれている建物。現在は周辺域に立ち入ることはできませんが、内部はどのようなになっているのか、どれぐらいの広さなのかという質問が来館者より多く寄せられています。

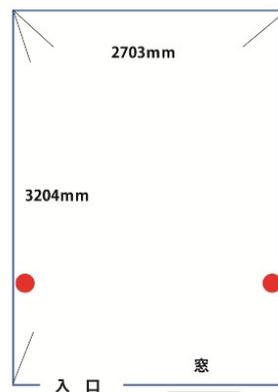


外観。茂みの奥に見えるのが入口。



内部。写真左手に見えるのがスイッチとコンセント跡。

そこで、2013年2月13日～16日にかけて資料館が内部調査を行い、下記図面のような構造であることがわかりました。外観は台形ですが、部屋は長方形で、広さは8.66㎡/2.6坪程度、高さは3m弱でした。左右の壁面にはスイッチとコンセント跡がありました（下記図面●の位置）。



内部図面

「弾薬庫」の用途については、「消音ピストルに詰める弾薬があった」「薬品などを入れる倉庫だった」などと元登戸研究所勤務者は語っています。恐らく『雑書ざっしょつづり綴』(第三展示室にて閲覧可能) p.830, p.862 に挙げられているような第二科で使用する薬品類が保管されていたと推測されます。しかし、「弾薬庫」に関する当時の記録資料が見つかっていないため、詳細な用途については不明です。第一校舎1号館裏手にも倉庫が残っているので、こちらと併せて調査を進めていくことでまた新たな発見があるかもしれません。



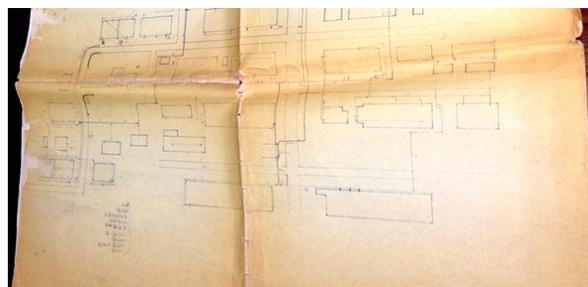
(写真左・中央) コンセント跡, (写真右) スイッチ

一調査報告— 学内に残る図面調査進行中！

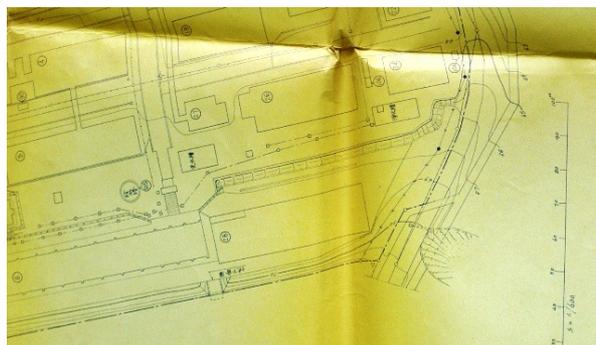
現在資料館では、学内で保管されている図面の調査を進めています。

これまでの調査で生田キャンパスの最も古い図面は、明治大学が登戸研究所跡地を購入する際に作成したと推定される図面です(写真上)。また、1959年9月、第一校舎1号館第一期工事の際に作成された図面からは、登戸研究所時代に偽造法幣印刷を担っていた第三科南方班の建物を確認しました(写真下)。さらに、1959年～60年にかけて行われた第一校舎1号館第一期工事で6号棟が取り壊され、その後の第二期工事(1962年に完成)で28号棟が取り壊されたことも判明しました。

今後、図面調査を進めていく中で、登戸研究所各建物の取り壊し時期が明らかになることも期待されます。また何か発見があり次第、こちらに紹介いたします。



1950年4月作成の図面(一部)。生田キャンパス南側



1959年9月1日作成の図面(一部)。図面左下に位置するのが6号棟。右下が28号棟。いずれも偽造法幣印刷工場だったと推定されている。

資料館からのお知らせ

キャンパス内 工事についての お詫びとお願い

明治大学生田キャンパスでは、2014年度末まで当資料館にほど近いエリアにおいて農学部新校舎建設工事を予定しております。これにより、資料館へご来館のお客様には騒音や通行路の一部閉鎖などご迷惑をおかけすることとなり申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2013年3月30日(土)午前10時より、資料館開館3周年を記念して、午前は山田朗館長による講演会、午後はドキュメンタリー映画「陸軍登戸研究所」上映ノ

明治大学 平和教育登戸研究所資料館 開館3周年記念イベント 開催決定!!!

ゝ会が行われます。詳しくは当館のホームページをご覧ください。講演会も上映会も大変見応えがあるものとなっておりますので、どうぞお楽しみに!

山田 朗 館長 (明治大学文学部教授)

渡辺 賢二 (明治大学兼任講師) による

見学会

明治大学構内に残る登戸研究所史跡をめぐるあと、解説つきで資料館をご案内いたします。

開催日：山田 朗 館長 ガイド日

4月27日(土) / 5月18日(土) / 5月25日(土) /
6月8日(土) / 6月22日(土)

渡辺 賢二 先生 ガイド日

4月6日(土) / 4月20日(土) / 5月4日(土) /
6月1日(土) / 6月15日(土)

集合場所：午後1時 生田キャンパス 中央校舎1階ロビー

午後1時：明治大学生田キャンパス内 登戸研究所史跡案内

午後1時半頃：登戸研究所資料館見学

午後3時頃：解散予定

参加費：無料

《学外の方は要事前予約》

* ツアー当日の午前中まで受け付けます (詳細は 044-934-7993 まで)。

明治大学平和教育登戸研究所資料館 主催
見学会開催のお知らせ

3月15日現在の来館者人数は

24,620名です。

編集・発行：明治大学平和教育登戸研究所資料館

〒214-8571

神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1

明治大学生田キャンパス

TEL/FAX：044-934-7993

Mail：noborito@mics.meiji.ac.jp

URL：http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html

《開館のご案内》

水曜日～土曜日 午前10時～午後4時

入場料：無料

* 10名以上の団体予約を希望する場合は、原則、見学希望日の1か月前までにお電話またはメールにて事前にご予約をお願いします。

* 団体予約の場合は日曜日も予約可能です。ご相談ください。ただし、大学の事情等でお断りすることもありますので、ご了承ください。